

やまぐちっ子学力向上だより

第 9 8 号 H31.1.7
山口県教育庁義務教育課

学力定着状況確認問題の結果から（その2）

前号に引き続き、学力定着状況確認問題の結果についてお知らせします。

教科に関する調査結果

◆教科の問題結果から見られる特徴

中学校

	主な成果	主な課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと ○時と場に応じて、適切な敬語を使うこと ○知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●内容を的確に捉え必要な情報を取り出すこと ●古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えること ●文脈に即して正しく漢字を書くこと
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○比例の意味を理解すること ○展開図から立体を読み取ること ○度数分布表を理解すること ○考察の対象になっている数量を捉えること 	<ul style="list-style-type: none"> ●基準量を求めること ●求めたい数量を、式を使って表すこと ●円柱の表面積を求めること ●判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や資料から必要な情報を正しく読み取ること ○時代ごとの主な人物を理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明すること ●示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明すること
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○葉緑体の意味を理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●物質の識別方法とその結果の見取り方を理解すること ●学習内容と身の回りの生活との関連を認識すること
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○英語を聞いて絵の状況を適切に表しているものを選ぶこと ○英文を読み、その内容が適切な順に並べられたものを選ぶこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●文脈に合うように内容を考えて、英文を書くこと ●英語で書かれた情報を読み取り、質問に英語で答えること

小学校と同様、ここでは課題が見られた問題を紹介します。各学校の取組を一層充実させていただきまますようお願いいたします。

数学

（中学校1・2年生）

- 商、積、余りの関係を文字式で表すことができる。

ある数を3で割ると、商が a で余りが2になります。ある数を、 a を用いた式で表しなさい。

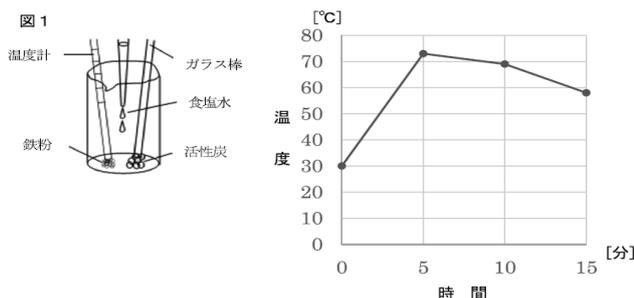
【正答】 $3a+2$

中1正答率：37.3% 中2正答率：35.6%

理科

- 学習内容と身の回りの生活との関連を認識することに課題が見られる。

7 化学かいろのしくみについて調べるため、図1のように3種類の物質（鉄粉、活性炭、食塩水）をよく混ぜ合わせ、5分ごとに混ぜ合わせたものの温度を測定した。次のグラフはそのときの温度変化を表している。（1）～（3）の問いに答えなさい。



(3) 市販の化学かいろの包装を開けてしばらく置くと、化学かいろは温かくなる。この理由を「化学かいろの包装を開けると、」の言葉に続けて、簡潔に説明しなさい。

【正答例】

化学かいろの包装を開けると、鉄粉が酸素とふれあって化学反応が起こり、熱を周囲に出すから。

正答率：25.6%

英語

- 文脈に合うように内容を考えて、英文を書く。

7 次のそれぞれの対話文の () に合う3語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(1) 【場面】 ナツミは登校中にALTのブラウン先生に会いました。

Mr. Brown: Hello, Natsumi. You *look happy.

Natsumi: Look! This is my new bag.

Mr. Brown: Nice bag! ()?

Natsumi: Well, my *aunt *gave it to me. Yesterday was my birthday.

Mr. Brown: Oh! Happy birthday, Natsumi!

(注) look : ~のように見える aunt : おばさん gave : 贈った

【正答例】

Where did you get (buy) it /
How did you get it / Who gave it
to you など

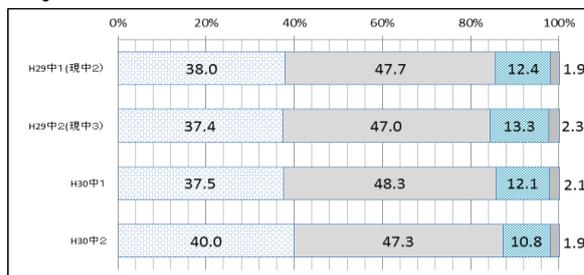
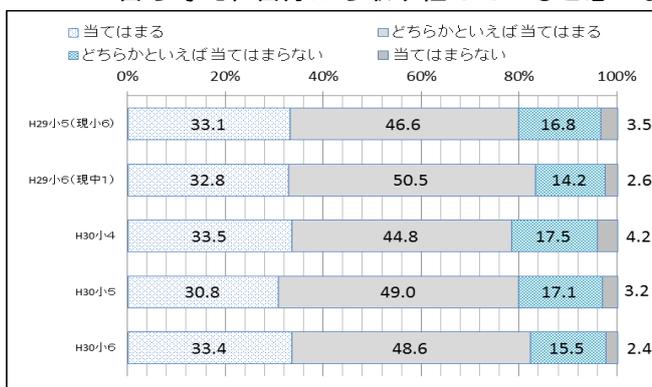
正答率 : 15.5%

児童生徒質問紙調査の結果

児童生徒質問紙調査では、昨年度に比べて、1時間以上勉強する児童生徒の割合が増加していることや、「授業では、課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合が増加しているなどの成果が見られる一方、自分で計画を立てて勉強することについて、中学校になるとその割合が減少するなどの課題も見られます。

新学習指導要領の全面実施を見据え、求められる資質・能力を確実に育成するため、各学校においては「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層推進する必要があります。

【質問⑪】 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思いますか。



日々の授業をより充実したものにするために

授業アドバイザーの活用について

子どもたちにとって授業がより充実したものになるよう、日々の授業改善のためには、校内研修の活性化等が求められるところです。

県教育委員会では、授業づくりや校内研修の一助となるため、授業アドバイザー派遣制度を設けています。

本制度は、山口大学教育学部附属学校教員を域内の学校に派遣して、授業づくりや校内研修への相談等、授業力の向上を支援する仕組みです。旅費等もかかりませんので、是非御活用ください。なお、アドバイザーの活用を希望する場合は、各市町教育委員会に御相談ください。



校内研修会の様子